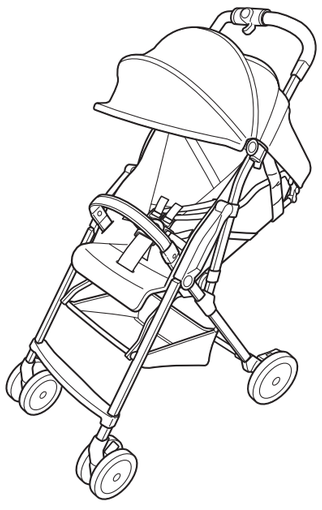
Combi

コンビ ベビーカー
F2plus
取扱説明書

品質保証書付

安全基準A型
（1ヵ月～36ヵ月ころまで）



ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

●本書は大切に保管してください。
●本製品を他のお客様にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。
●この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための１人乗り乳母車（ベビーカー）です。
●望ましい連続使用時間：２時間以内（ただし、生後７ヵ月以上を対象にした座位使用時は１時間以内）
●使用できるお子さまの年齢：生後１ヵ月※以上36ヵ月ころまで（お子さまの体重の目安15kg以下）
※生後１ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、１ヵ月経過したお子さまを示します。

品質保証書　コンビ ベビーカー

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定
1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より１年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
(a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
(b) シートクッションなど、縫製品の傷ややぶれ。
(c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
(d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
(e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(f) 本書のご提示がない場合。
(g) 一般家庭以外で、業務用などにご使用され故障した場合。
(h) 有料修理の場合に要する発送運賃。
(i) 車輪の自然摩耗。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしかねます。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

製品名	ロットNo.（シート下左側フレームのシールをご覧ください）	お買い上げ日　年　月　日	保証期間　お買い上げ日より1年間（ただし保証規定による）
お客様	お名前　様	ご住所　〒　TEL	
販売店	店　名	住　所　TEL	

修理メモ

●お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
●領収書（レシート）を本書といっしょに保管してください。
●万一故障が生じました場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマープラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
●品質保証書にご記入いただいた個人情報は、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

Combi コンビ ベビーカー F2plus

コンビ株式会社

■公式ホームページ　http://www.combi.co.jp
■公式オンラインショップ　http://www.combishop.jp
■公式製品＆育児情報サイト・コンビタウン　http://www.combibaby.com

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。
コンシューマープラザ（Customer Service Center）
受付時間：10:00～17:00（日祝日、年末年始を除く）　〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田 271
■総合受付（各種ご相談）窓口　商品に関するお問い合わせ / 修理のご要望 / 各種ご相談 / その他
TEL.(048)797-1000　FAX.(048)798-6109
■部品販売（相談）窓口　部品購入のお問い合わせとご注文
TEL.(048)797-1001　FAX.(048)798-6109
コンシューマープラザ（Customer Service Center）／西日本担当
受付時間：10:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）　〒540-0026　大阪府大阪市中央区内本町 2-4-16
TEL.(06)6942-0379　FAX.(06)6942-0302
＊コンシューマープラザホームページ　http://www.combi.co.jp/cp/

150246120　14.1

安全にご使用いただくために

●製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
●ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の２つに区分して示してあります。
安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。
✕	禁止行為であることを告げるものです。

ワンポイント	補足説明

⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。
●開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。
●階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。
●破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。
●お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。

ベビーカーが転倒して、お子さまが落ちるおそれがあります。
●お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。特にハンドルにつるすと不安定になり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。
●ベビーカーに同時に２人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外のところに乗せないでください。また、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。
●ご使用中にハンドルに寄りかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。
●お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。

お子さまが落ちるおそれがあります。
●すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。
肩・腰ベルトを股バックルに取り付け後、ベルトを強く引っぱり、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。
●お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目を離さず、十分注意してご使用ください。
●お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。

ベビーカーが動き出したり、転倒するおそれがあります。
●ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。
●お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。
●ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

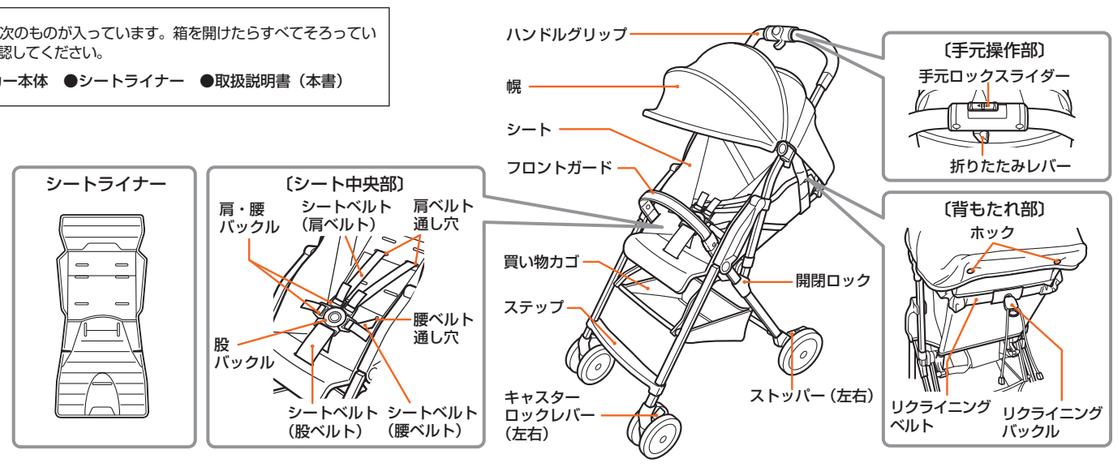
お子さまがケガをするおそれがあります。
●ベビーカーの開閉やリクライニング操作時は、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
●幌を開閉するときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
●お子さまの足が車輪や地面につく場合は使用しないでください。足をケガするおそれがあります。

⚠注意　取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

●お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的外の使用では破損などのおそれがあります。
●お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
●お子さまを乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。お子さまが抜け出したり、落ちるおそれがあります。
●ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
●ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
●出荷時に取り付けられている部品および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
●ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。ベビーカーの破損の原因となります。
●段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。
段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
●買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
●線路や排水口などの路面の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。
●雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
●風の強いときは使用しないでください。
勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
●雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
●夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
●火の近くや夏季の車内など高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
●ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
●ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。ベビーカーが動き出し転倒するおそれがあります。
●ベビーカーを寝かせて保管する場合は、背面を下にしてください。横向きに寝かせて保管すると、故障や変形の原因となります。
●製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
●ご使用の前に、締結部品などにゆるみがないか確認してください。
ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
●長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1時間以内で休憩をとるなどしてください。
●バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
●電車の中での使用について
本製品は、電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

各部のなまえ

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。
●ベビーカー本体　●シートライナー　●取扱説明書（本書）



日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

●シートライナー、肩ベルト、買い物カゴの洗濯
• 30℃以下の液温で手洗いしてください。
• 洗濯機は使用しないでください。
• きついもみ洗いはしないでください。
• 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
• 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
• 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて平干ししてください。
• 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

●シート、股ベルト、腰ベルト、幌の洗濯
• シート、幌やベルトは液中につけず、30℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
• 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
• 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

※ 幌や買い物カゴのプラスチック部分などでケガをしないように注意してください。
※ シートは取りはずすことはできません。
※ 製品の特性上若干色あせすることがあります。
※ 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤、漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
※ 保管状態により、カビが発生する可能性があります。こまめに洗濯をし、清潔に保つよう心がけてください。

車体の清掃について

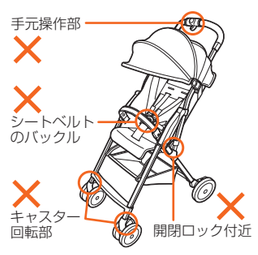
⚠注意　車体の清掃は水ぶき以外はしないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

●車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。

注油について

⚠注意　お子さまがなめる可能性の高い部分などには油が付着しないようご注意ください。

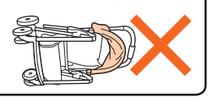
●きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず、潤滑油（シリコーン系）を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
●右に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

⚠注意
● 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
● ベビーカーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。
● ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。ベビーカーが動き出し転倒するおそれがあります。
● ベビーカーを寝かせて保管する場合は、背面を下にしてください。横向きに寝かせて保管すると、故障や変形の原因となります。



点検とアフターサービスについて

●ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、シート下左側フレームに貼ってあるシールをご覧になって製品名・ロットNo.をお知らせください。
●締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
●製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
●お手入れの際に取りはずした商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。
●本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

廃棄方法について

お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

SGマークの被害者救済制度

SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。
ベビーカーの場合は、お買い上げ日より４年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意
認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合
損害を被った消費者（お子さまなどの場合は、保護者）が、事故発生日から60日以内に下記までご連絡願います。

一般財団法人 製品安全協会　東京都台東区竜泉２丁目20番２号 ミサワホームズ三ノ輪２階
TEL.（03）5808-3300

事故の届出に必要な項目
① 事故の原因となった製品現品 …… • 製品名称、ロットNo. • 購入先、購入年月日
② 事故発生の状況 …… • 事故発生年月日 • 事故発生場所 • 事故発生状況
③ 被害の状況 …… • 被害者の氏名、年齢、性別、住所 • 被害の状況

ベビーカーの開きかた

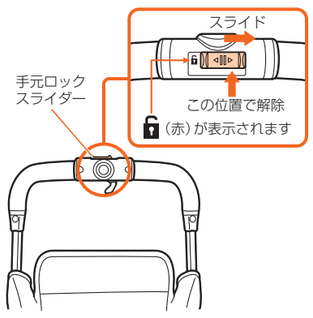
⚠警告
● ベビーカーを開くときには、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
● 使用する前に、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。
※下記のイラストはシートの背もたれ下部です。

● 手元ロックスライダーを必ずロックして使用してください。無意識に折りたたみレバーを握ったときなど、急に折りたたまれるおそれがあります。

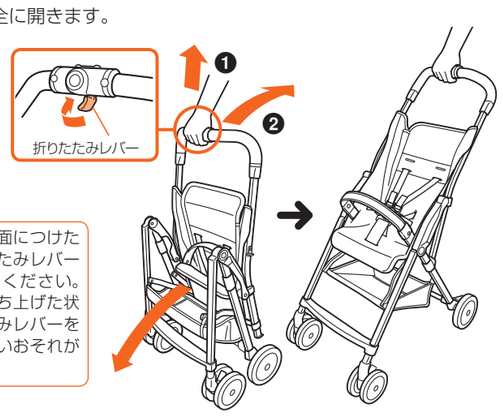
⚠注意
● お子さまにベビーカーを操作させないでください。
転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
● ベビーカーを持ち上げた状態で、折りたたみレバーを握りロックを解除すると、破損のおそれがあります。

本ベビーカーは、２つに折りたたむことができます。

1. 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドし、折りたたみのロックを解除する。

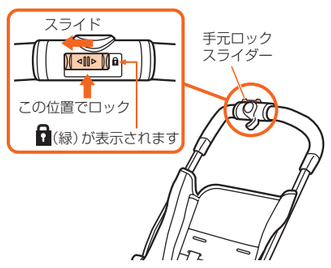


2. ❶折りたたみレバーを握りながら、ハンドルを持ち上げ、❷そのままハンドルを手前に倒す。
ベビーカーが完全に開きます。



ワンポイント
ベビーカーを地面につけた状態から折りたたみレバーを握り操作してください。ベビーカーを持ち上げた状態では折りたたみレバーを握っても開かないおそれがあります。

3. 手元ロックスライダーを元に戻し、折りたたみをロックする。
折りたたみレバーがロックされます。

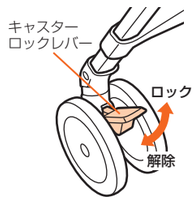


キャスターの使いかた

●キャスターを使用すると、平たんな路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。
●キャスターをロックすると、坂道や凸凹の路面で押しやすくなります。

キャスターロックレバーを下げて、ロックを解除する。

坂道や凸凹の路面を押すときは、キャスターロックレバーを上げてロックする。

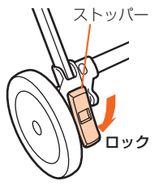


ストッパーの使いかた

⚠警告
● ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
● お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

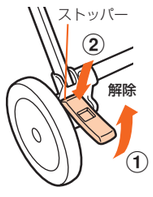
ベビーカーを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。

1. 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。



⚠注意
空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

ロックを解除するときは
①：ストッパー下部を押し上げる。
または
②：ストッパー上部を押し込む。



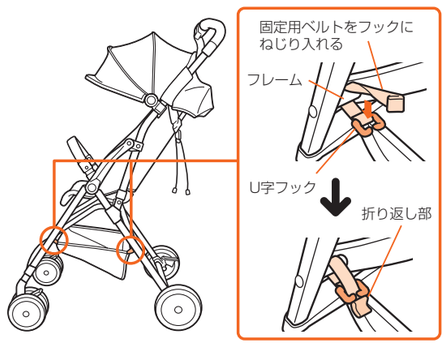
買い物カゴの取り付けかた

⚠注意
● 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
● 角のとがったものや、買い物カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下や買い物カゴの変形およびやぶれの原因となります。
● ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になります。

カゴ前後左右の固定用ベルトを、前脚後脚の中間部分にある買い物カゴ取り付け用フレーム（左右４ヵ所）に通し、ベルト先端をU字フックに通してとめる。

取り付け後、ベルト先端の折り返し部がU字フックにとまっているか、引っぱって確認する。

●荷物について
できるだけ買い物カゴの底に均等に荷重が加わるようにのせてください。



フロントガードの使いかた

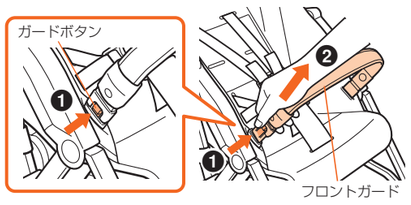
⚠警告
- フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。
- フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。

⚠注意
- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。

●お子さまの乗せ降ろし時にフロントガードを開くと、足などが引っかかりません。
●フロントガードは完全に取りはずすことができます。

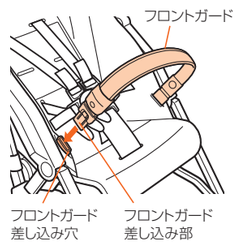
フロントガードを開くとき

❶ ガードボタンを矢印方向に押しながら、
❷ フロントガードを引き抜く。



フロントガードを閉じるとき

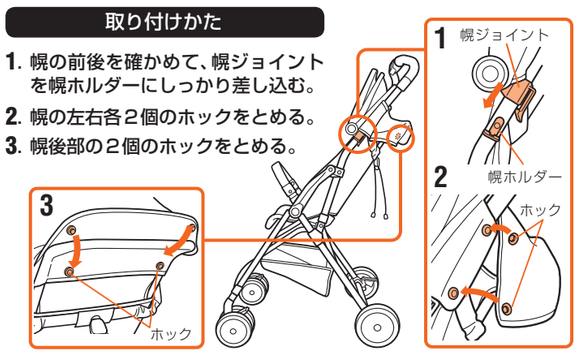
1. フロントガード差し込み穴にフロントガード差し込み部を「カチッ」と音がするまで差し込む。
2. フロントガードを引っぱって、はずれないことを確認する。



幌の取り付けかた、はずしかた、使いかた

取り付けかた

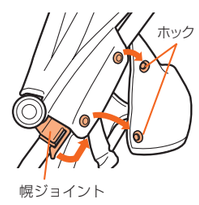
1. 幌の前後を確かめて、幌ジョイントを幌ホルダーにしっかり差し込む。
2. 幌の左右各２個のホックをとめる。
3. 幌後部の２個のホックをとめる。



はずしかた

左右・後部の計6個のホックをはずし、幌ジョイントの下端のツメを手前に引き上げながら、幌ホルダーから引き抜く。

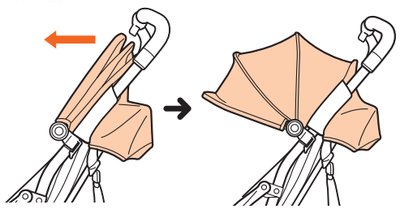
⚠警告
幌を開閉するときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。



●幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。折りたたむときは、必ず幌を後側にまとめてください。

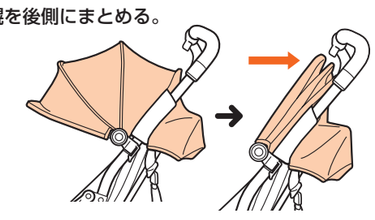
使用するとき

幌を前に広げる。



収納するとき

幌を後側にまとめる。



トップウィンドー（幌窓）の開きかた

窓カバーを開けると、お子さまの様子を見ることができます。

幌窓を開くとき

2個のホックをはずし、窓カバーを巻き上げ、バックルでとめる。

幌窓を閉じるとき

バックルをはずし、窓カバーの2個のホックを幌のホックにとめる。

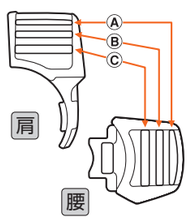
シートベルト（股ベルト・腰ベルト・肩ベルト）の使いかた

⚠警告
- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒す場合、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。操作後は肩ベルトを適切な長さに調節してください。
- 肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

●シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトの総称です。

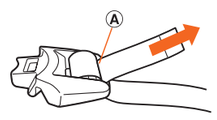
肩・腰ベルトの長さを調節するとき

肩・腰バックルのベルト通し（ⒶⒷⒸ）



【締めるとき】

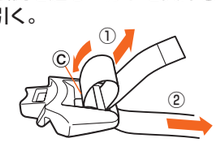
ベルトの先端を矢印の方向に引く。



※ 腰バックル右側でイラスト表現しています。

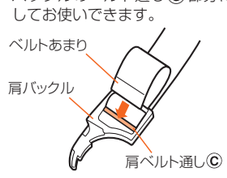
【ゆるめるとき】

バックル表側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。
バックル裏側を通るベルトを矢印②の方向に引く。



⚠警告
肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。使用中に肩・腰ベルトが抜けて、お子さまが落ちるおそれがあります。取り付け後、肩・腰ベルトを強く引っぱり、それぞれのバックルから抜けないことを確認してください。

ワンポイント
- ベルトの調節の目安がわからない。
→お子さまとベルトの間に、大人の指の第２関節が入るくらいのすき間が目安です。
- 肩ベルトの先端がお子さまの顔の付近にくるときや、お子さまが引っぱって遊んでしまうあまりは、肩バックルのベルト通しⒸ部分に通してお使いできます。



股ベルトの長さを調節するとき

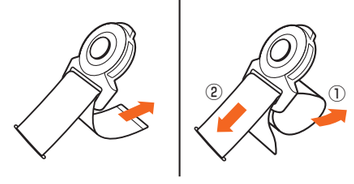
【締めるとき】

ベルトの先端を矢印の方向に引く。

【ゆるめるとき】

股バックル裏側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。
股バックル表側を通るベルトを矢印②の方向に引く。

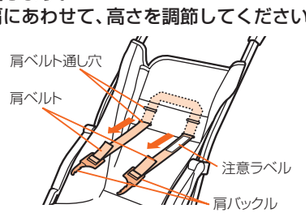
●締めるとき　●ゆるめるとき



ワンポイント
股ベルトは、取りはずしできません。

肩ベルトの取り付けかた

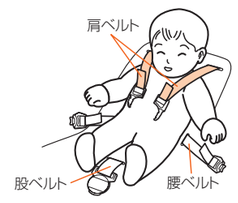
肩ベルトは、シート側の左右のベルト通し穴にシート裏側から通します。
お子さまの肩にあわせて、高さを調節してください。



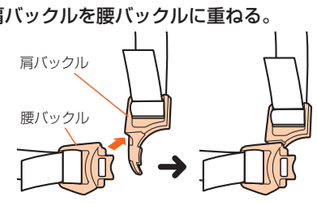
ワンポイント
肩ベルトは、注意ラベル側を表にして使用してください。

シートベルトを締めるとき

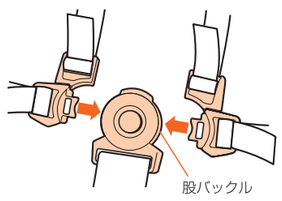
1. お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。



2. 肩バックルを腰バックルに重ねる。



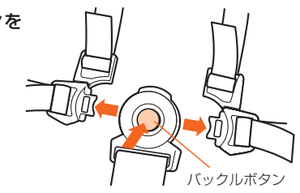
3. 股バックルを引き出し、股バックルの左右に重ねた肩と腰バックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。



4. 肩ベルト、腰ベルトを引っぱって、はずれないことを確認する。

シートベルトをはずすとき

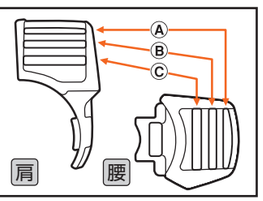
バックルボタンを押す。



ワンポイント
- 背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。肩ベルト通し穴の位置を変えるときは、「肩ベルトの取り付けかた」をご覧になり、確実に取り付けてください。
- 長さ調節時にシートベルトを肩・腰バックルからはずしたときは、「肩・腰ベルトをバックルへ取り付けるとき」をご覧になり、確実に取り付けてください。取り付けかたが不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
- 肩・腰バックルをはずしづらい場合は、バックルボタンの両側を交互に押して、片側ずつはずしてください。

肩・腰ベルトをバックルへ取り付けるとき

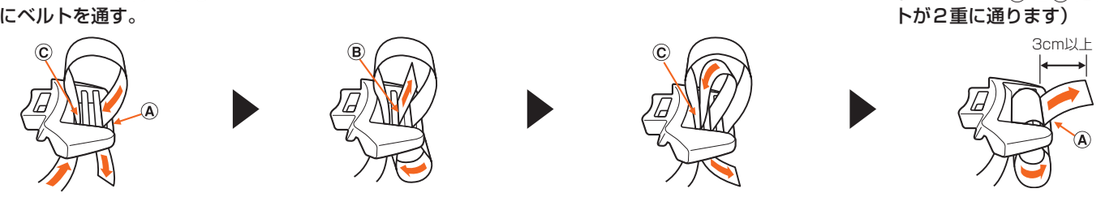
肩・腰バックルのベルト通し（ⒶⒷⒸ）



⚠警告
- 肩・腰バックルへのベルトの取り付けかたが、不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
- ベルトを肩・腰バックルに取り付け後、ベルトを強く引っぱり、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

※ 肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。
※ 腰バックル右側でイラスト表現しています。

1. バックルのベルト通しⒸにベルトを通し、ベルト通しⒶにベルトを通す。
2. ベルト通しⒷにベルトを通す。
3. ベルト通しⒸにベルトを通す。
4. ベルト通しⒶにベルトを通す。（ベルト通しⒶとⒸにはベルトが２重に通ります）



リクライニングの使いかた

⚠警告
- リクライニング操作時には、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

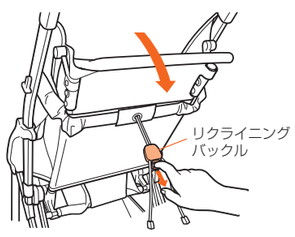
⚠注意
- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- お座りができないお子さまの場合は、１番倒した状態から中間位置まで起こした状態でご使用ください。

ワンポイント
- **リクライニングの使いかたの目安**
- **１ヵ月～首がすわるまで**
→背もたれは１番倒した状態
- **首がすわってから、１人でお座りができるまで**
→背もたれは１番倒した状態から中間位置まで起こした状態
- **１人でお座りができるようになったら**
→背もたれは１番倒した状態から１番起こした状態
- **背もたれを倒して使うと、シートが狭く感じる**
→お子さまがお座りできる場合に限り、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。

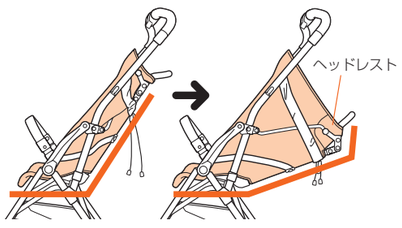
背もたれの倒しかた

※ お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
※リクライニングを使うときは、必ずお子さまの体を支えてください。

1. 片方の手でお子さまの体を支え、他方の手で、リクライニングバックルの中央リングを引っぱる。



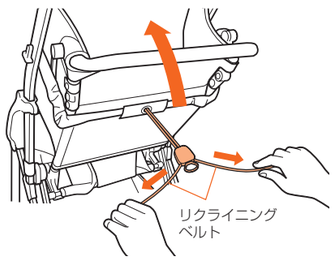
2. 背もたれを倒す。
ヘッドレストが起き上がってきます。
（ムービングヘッドガード機能）



ワンポイント
１人でお座りができるお子さまでヘッドレストの位置に頭がくる場合には、背もたれを倒したときに無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない位置でとめてください。

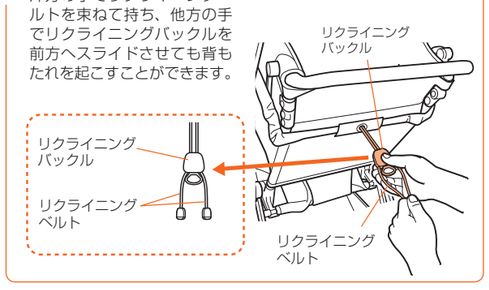
背もたれの起こしかた

背もたれを起こすときは、お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングベルトを左右に引っぱる。



ワンポイント
お子さまの体重を背もたれにかけたままでは、起こすことができません。

ワンポイント
片方の手でリクライニングベルトを束ねて持ち、他方の手でリクライニングバックルを前方へスライドさせても背もたれを起こすことができます。



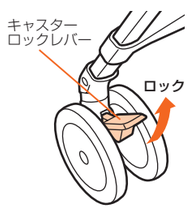
ベビーカーの折りたたみかた

⚠警告
ベビーカーを折りたたむときは、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。

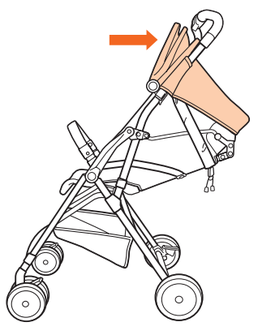
⚠注意
- 手元ロックスライダーは折りたたみ後、必ずロックしてください。また、折りたたみ操作以外は折りたたみレバーを握らないでください。
- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。
- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、１度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむときは、買い物カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- 折りたたむときは、幌がたたまれ後側にまとめられていることを確認してください。幌の変形や破損の原因になります。
- 折りたたむときは、キャスターをロックしてください。キャスターがロックされていないと折りたたんだ状態でベビーカーが倒れやすくなります。

●幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。折りたたむときは、必ず幌を後側にまとめてください。

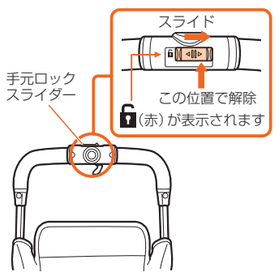
1. 左右のキャスターロックレバーを上げて、ロックする。



2. 幌を１番たたんだ状態にする。
「幌の使いかた」をご覧ください。

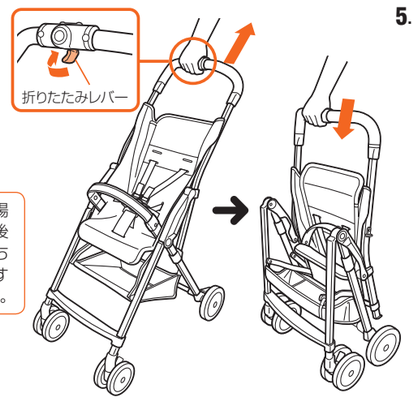


3. 手元ロックスライダーをスライドして、折りたたみのロックを解除する。

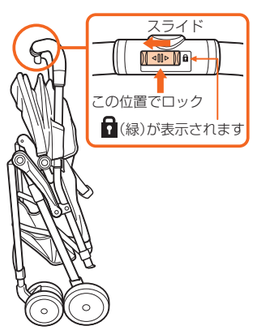


4. 折りたたみレバーを握りながら、ハンドルを引き上げる。十分引き上げたら、そのままハンドルを押し下げる。
ベビーカーが折りたたまれます。

ワンポイント
上記の方法で折りたたみにくい場合は、折りたたみレバーを握り、後輪を接地させたまま、前輪を持ち上げるように、車体を後ろに倒すことで折りたたむことができます。



5. 手元ロックスライダーをスライドして、折りたたみをロックする。

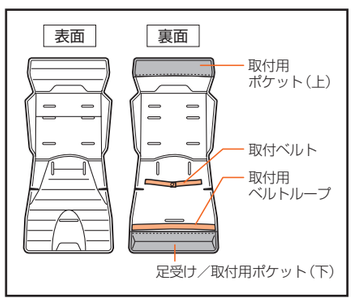


シートライナーの取り付けかた、はずしかた

⚠警告
- やぶれやほつれの発生したシートライナーはそのまま使用しないでください。シートライナー本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- シートライナーを取り付ける際には、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全な場合、ケガややぶれなどの原因となります。

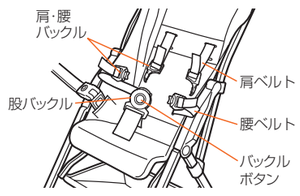
⚠注意
肩ベルトをシートライナーに通す際は、ベースシートの肩ベルト通し穴と、シートライナーの肩ベルト通し穴の高さをあわせて通してください。高さがあっていないと肩ベルトの長さが足りなくなるなど、お子さまの拘束に支障をきたすおそれがあります。

●取り扱いかた
お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、シートライナーに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。



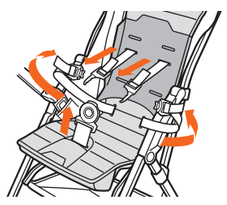
取り付けかた

1. バックルボタンを押して、股バックルから肩・腰バックルからはずす。
次に腰バックルから肩バックルをはずす。

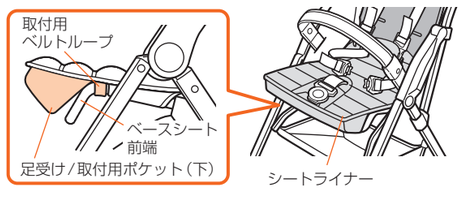


2. シートライナーをベースシートにのせ、裏面の取付用ポケット（上）をベースシートの上端にかぶせる。

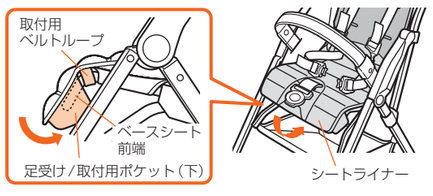
3. 肩ベルト・腰ベルト・股ベルトをシートライナーのベルト通し穴から表面に引き出す。



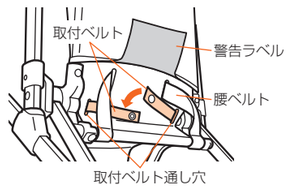
4. ①：足受けを使用するとき
シートライナーの表面の取付用ベルトループをベースシートの前端に通し、足受け／取付用ポケット（下）はベースシートの前端にのせる。



②：足受けを使用しないとき
シートライナーの表面の取付用ベルトループをベースシートの前端に通し、足受け／取付用ポケット（下）をベースシートの前端にかぶせる。



5. 取付ベルトをベースシートの取付ベルト通し穴に通し、警告ラベルの裏側でホックをとめる。



はずしかた

1. 取付ベルトのホックをはずし、シートライナー裏面の取付用ベルトループ、取付用ポケット（上）、（下）をベースシートからはずす。
2. 肩ベルト・腰ベルト・股ベルトをシートライナーのベルト通し穴から引き抜く。